

授業科目

生活支援科学特論

担当教員名 久保 雅義、江原 義弘、古西 勇、永井 洋一 他	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・ 医療情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

授業のコンテンツは高齢者・障がい者に対する生活支援科学技術に関するもので受講者の分野を選ばない一般的なもの。学ぶ手段として英語を用いる。担当教員により提供された題材をもとにディスカッションを行う。英語「を」学ぶのではなく、英語「で」学ぶことを実践していく。

授業の目的

高齢者・障がい者の問題を解決するための生活支援科学技術について学ぶ。英語で情報を収集し、英語で議論する。トピックスの例として、高齢者・障害者の動向、リハビリテーション工学の臨床実務、ユニバーサル・デザイン、シーティング・バイオメカニクスとシーティング装置および技術、軟組織バイオメカニクスとその健全性、車いすおよびその輸送方法、福祉ロボット、義肢装具、視覚障害者用機器と技術、聴覚障害者用機器と技術、障害者用IT技術、障害者用コミュニケーション関連機器と技術、高齢者・障害者用スポーツなどが含まれる。

学習目標

1. 福祉技術の世界的動向について説明できる。
2. 世界の中での日本のRehabilitation Engineering & Assistive Technologyを認識し、国際的課題を提起することができる。
3. ユニバーサル・デザインの概念と適応について説明でき、超高齢社会のインフラのあるべき姿を認識している。
4. 福祉機器・用具使用における動作を理解し、福祉機器の開発にフィードバックさせるための研究手法について説明できる。
5. 東南アジアで求められる福祉機器の特徴について説明でき、また、福祉機器による国際貢献について提案できる。
6. 専門領域におけるディスカッションを英語で行うことができ、また、用語については日本語でも説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション: 講義の進め方についての受講者とともに計画を立てる	討論	久保 雅義
2	英語でのコミュニケーション強化法	講義・討論	久保 雅義
3	生活支援にはたすバイオメカニクスの役割I	講義・討論	久保 雅義、江原 義弘
4	生活支援にはたすバイオメカニクスの役割II	講義・討論	久保 雅義、江原 義弘
5	開発途上国での「適正技術」I	講義・討論	久保 雅義、古西 勇
6	開発途上国での「適正技術」II	講義・討論	久保 雅義、古西 勇
7	障害をもつ子供に対する生活支援I	講義・討論	久保 雅義、永井 洋一
8	障害をもつ子供に対する生活支援II	講義・討論	久保 雅義、永井 洋一
9	ウェブ関連支援技術、障害者が利用しやすい交通手段	講義・討論	久保 雅義、大鍋 寿一
10	AAC (Augmentative and Alternative Communication)技術、聴覚支援機器	講義・討論	久保 雅義、大鍋 寿一
11	視覚支援機器、車いす、ユニバーサル・デザイン、活支援科学技術を必要とする背景、リハビリ工学とICFモデル	講義・討論	久保 雅義、大鍋 寿一
12	福祉ロボット、シーティング・バイオメカニクスとシーティング装置および技術	講義・討論	久保 雅義、大鍋 寿一
13	生活支援技術についてのカレントトピックI	討論	久保 雅義
14	生活支援技術についてのカレントトピックII	討論	久保 雅義
15	課題報告	自分で選んだトピックについて英語でプレゼンテーション	久保 雅義

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	An Introduction to Rehabilitation Engineering	R.Cooper、 H.Ohnabe、 D.Hobson	Taylor and Francis	2006年	7,298円 + 税	
	Wheelchair Selection and Configuration	Rory A.Cooper	Demos	1998年	4,681円 + 税	
その他の資料						

評価方法

二つの観点から評価する。1) 積極的な学習態度: 自分の考えを積極的に伝えていく「態度」を重視し、授業中の発言数を評価の対象とし、さらに、2) 最終回でのプレゼンテーションで「内容がどの程度聴衆に伝わったか」を評価の対象とする。1) が全体の評価の3/4、2) が1/4を占める。

履修上の留意点

授業のスケジュールは、最初の授業の時に受講者と担当教員で相談して決定する。英語での学び・コミュニケーション力を高めたいと考えている方が対象となる授業で、授業の英語へのアプローチは「英語ができるのでそれを使う」のではなく、「使うことにより英語でのコミュニケーションができるようになる」というもの。

オフィスアワー・連絡先

E204: kubo@nuhw.ac.jpにemailでアポイントメントをとること。